

Day 3

タイトル 3. TICAD VIIへ向けた行動計画と中間報告  
(1) TICAD VIIIに向けたACCP第1年次活動報告、および最新行動計画

発表者 JICA地球環境部 ACCP事務局／環境管理グループ環境管理第二チーム 課長 近藤 整

発表者は、ACCPの第1年次の活動と第2年次の計画を、以下のとおり報告した。

要約

第1年次は、ACCP事務局を暫定的にJICA本部(東京)に設置し、行動計画の策定や各種広報活動を行い、第1回年次会合をモロッコで開催した。その他、ナイジェリアでのSDGのモニタリングにかかるパイロット調査や、横浜でのアフリカ廃棄物管理者向け研修、廃棄物管理データにかかる調査、モザンビーク処分場崩落事故の緊急援助派遣などを実施。結果として、知見共有やネットワーキング促進、アフリカ廃棄物管理データの収集、加盟国・都市数の増加、民間企業のACCP活動への参加、アフリカ諸国の取組みの促進など具体的な成果が達成された。

第2年次には、横浜での研修(英・仏1回ずつ)と準好気性埋立スタディツアーを計画しており、来年8月に第2回年次会合、およびTICAD7サイドイベントが横浜で開催される予定である。TICAD7サイドイベントでは、「アフリカ廃棄物管理データブック」及び「住民啓発活動ガイドブック」を公表予定である。最後に、発表者は、ACCPが目標に掲げる2030年までにきれいで健康的な街の実現を達成するために、各国・都市が具体的な行動をとることを呼びかけた。